



主な内容	P1	新年度の挨拶
	P2	令和3年度事業計画
	P3	令和3年度予算
	P4	社協会費納入のお願い 主な社会福祉活動事業
	P5	金ケ崎町スノーバスターズ活動記録
	P6	デイサービス
	P7	金ケ崎町社会福祉協議会組織図
	P8	寄付の報告 車両贈呈式 生活福祉資金のご案内 職員募集のお知らせ ワークステーションからのお知らせ

学童の新しいお友達

新年度になり、各学童に新1年生のみなさんが入所しました。それぞれの学童で元気に活動してくれている新入生のみなさん。学童職員も、みなさんからパワーをもらいながら、安全に楽しく放課後の時間を過ごせるように見守っていきます。



三ヶ尻学童



北部学童



永岡学童

金ケ崎学童



西学童



地域共生社会の実現は互助と共助

新年度の挨拶

金ケ崎町社会福祉協議会 会長 高橋 範夫

この度当社協の第3期金ケ崎町地域福祉活動計画を策定しました。本計画は令和3年度から令和7年度までの5か年計画です。所謂5年間で実践する金ケ崎町の地域福祉計画です。計画策定にあたっては、第2期の活動を検証（何ができて、何ができなかったか）し、更には策定委員会、福祉懇談会を開催し多様な意見、要望等を取り込んだほか、町の福祉計画との関係性を保持しながら向後、新たな取組事項を加え、かなり吟味した内容で策定しています。

今回策定した計画は、既に一読された方もいると推察しますが、私からもう一步踏み込んで、計画の底流にある考えを申し上げたいと思います。

近年の人口減少、少子高齢化は一段と加速し、福祉課題は多様化してきています。福祉の他、医療、保健、雇用、就職、司法、産業、教育、家庭、権利擁護、病気、住まい、孤立そして多文化共生など挙げれば限りがないほどこれに関連する課題は山積しているものの、社協としての大きな方向性は地域共生社会の実現です。一口に言えば他人事も我が事として捉え、地域で丸ごと支える仕組みづくりであります。そのためには互助・共助の実践が大変重要になってきます。例えば地域力を活かし高齢者の電球交換、ゴミ出し、雪かきなど小さな困りごとの解決から取り組んでいく事だと思えます。こうした互助・共助の輪が広がってこそ、町民が真に安心して暮らせる地域社会の実現に近づくものと思えます。社協としても計画の遂行は勿論ですが、地域の方々にも新たな地域づくりにご尽力いただければ幸いです。

令和3年度金ヶ崎町社会福祉協議会 事業計画

基本方針

社会福祉協議会は、多様な福祉ニーズに応えるべく様々な地域福祉事業のほか、介護事業や障がい福祉事業など幅広く事業を展開していきます。

新型コロナウイルスへの対応など先が見通せない状況が続いておりますが、昨年度策定し、本年度からスタートした第3期金ヶ崎町地域福祉活動計画に基づき着実に事業を推進しながら、地域福祉の向上に努めてまいります。

重点事業

1. 地域福祉事業の推進

「ゆいっこハウス」や「青い鳥のつどい」などの事業のほか、配食サービスや雪かきボランティア活動、買い物支援バスなどについては、新型コロナウイルスの状況を見ながら事業を進めます。

また、みんなの居場所「はっぴいづれいすかねがさき」（子ども食堂）も好評につき、テイクアウト方式も含めて重点事業として推進するほか、雪かきや支え合いマップの作成など、地域での支え合いのしくみづくりを支援します。



▲ はっぴいづれいすかねがさき

2. 学童保育事業の推進



子どもの数がやや減少傾向にある中で、学童保育所の利用者は増加しており、本年度も昨年度を上回る利用者数となっています。

学童保育所によっては、人数の関係で多少窮屈な状態にありますが、それぞれの学童保育所の特徴を活かしながら、安全安心を基本に、放課後児童の健全育成に努めます。

◀ 学童保育所

3. 介護事業の推進

高齢者が増加する中で、社会福祉協議会が担っている居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業について、事業の充実を図っていきます。

また、介護予防の立場から機能訓練を重視し、理学療法士等の対応により、通所型 A サービス事業の充実を図るほか、体操ショッピングバス等についても、新型コロナウイルスの状況を見ながら事業を進めます。



▲ 通所介護事業所 機能訓練

4. 障がい福祉事業の推進

本年度から相談支援事業所あゆみに専任職員を配置しており、すでに昨年度から専任体制をとっている障がい者基幹相談支援センターとともに、障がい者の相談支援体制を強化します。

また、放課後等デイサービスについては、第3クレヨンを休止し、第2クレヨンを開業させるほか、ワークションかねがさきにおいては、生活介護と就労継続支援B型事業を推進します。



▲ 新たに相談コーナーを設置しました



▲ 金ヶ崎町福祉センター

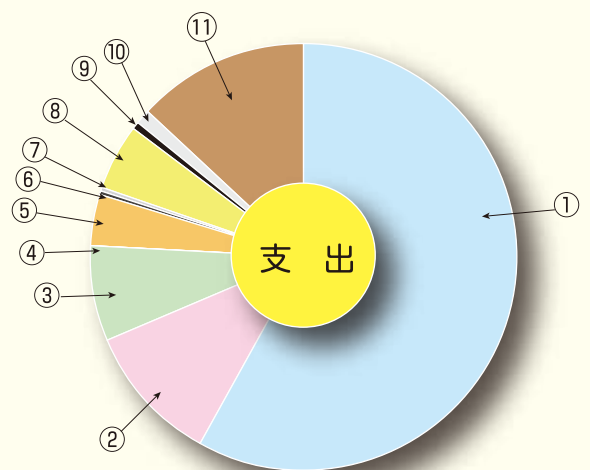
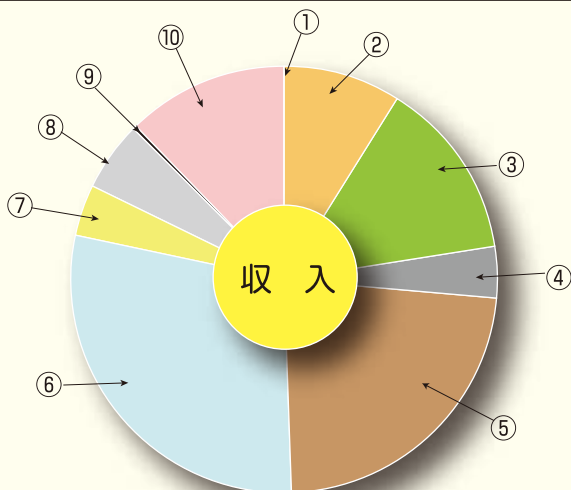
5. 福祉センター施設の建て替え

昭和47年建設の福祉センターは、間もなく建設から50年を迎え、老朽化が進んでいるため、建て替えの具体化に向けて取り組みます。現在地が町有地となっているため、土地利用や施設機能をはじめ財源対応について町と協議しながら進めます。

令和3年度一般会計資金収支予算内訳表

収入項目	予算額 (単位：千円)	割合 (%)
①会費収入	4,305	0.1
②助成金等収入	35,099	9.0
③経常経費補助金収入	58,813	13.5
④受託金収入	17,378	4.0
⑤介護保険事業収入	99,550	22.9
⑥障害福祉サービス等事業収入	126,009	29.0
⑦就労支援事業収入	16,775	3.9
⑧拠点区分間繰入金収入	22,300	5.1
⑨サービス区分間繰入金収入	2,293	0.5
⑩前期末支払資金残高	52,267	12.0
合計	434,789	100.0

支出項目	予算額 (単位：千円)	割合 (%)
①人件費支出	253,172	58.2
②事業費支出	45,659	10.5
③事務費支出	31,338	7.2
④貸付金支出	300	0.1
⑤就労支援事業支出	16,400	3.8
⑥助成金支出	1,110	0.3
⑦積立資産支出	1,005	0.2
⑧拠点区分間繰入金支出	22,300	5.1
⑨サービス区分間繰入金支出	2,293	0.5
⑩予備費支出	5,300	1.2
⑪当期末支払資金残高	55,912	12.9
合計	434,789	100.0





社会福祉協議会会費納入にご協力ください。

～皆様からご協力いただいた会費は事業活動によって地域に還元いたします～

町民の皆さまから納入いただいた会費は、事業の大きな原動力となり、令和3年度事業計画を実施するための重要な財源として用いられます。地域福祉向上のため、趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

金ヶ崎町社協の会費一般会費

- 一般会費 1世帯1,000円** (町内全世帯)
*社協福祉活動推進員(自治会長)を通じて納入いただいております。
- 特別会費 2,000円** (事業所・施設・関係機関団体等)
- 賛助会費 1,000円** (本会役員その他個人)

令和2年度社協会費実績

一般会費	3,870,000円
特別会費	431,000円
賛助会費	12,000円
合計	4,313,000円

～ご協力いただきました会費を活用し 主に以下のような事業を行います～

● 主な社会福祉活動事業 ●



100歳記念事業



金婚を祝う会



ゆいっこハウス



体操ショッピングバス



青い鳥のつどい



ボランティアスクール



配食サービス



はっぴいぶれいすかねがさき



ふれあい相談



災害ボランティアバス (令和元年 台風19号)



スノーバスターズ

令和3年度の事業運営方針及び事業計画の詳細については、金ヶ崎町社会福祉協議会のホームページに掲載しております。



近年まれに見る大雪に見舞われる

町外からの応援に感謝！

町外からも個人でのボランティアや花巻東高等学校女子硬式野球部の皆さんにもご協力いただきました。沢山のご協力ありがとうございました。

活動記録

年月日	内容	除雪世帯	参加者
令和2年	12月13日	出発式、第1回スノーバスターズ	28世帯 29人
	12月15日	臨時活動	1世帯 5人
	12月16日	臨時活動(会員、社協職員)	24世帯 26人
	12月17日	臨時活動(社協職員)	42世帯 23人
	12月20日	第2回スノーバスターズ	10世帯 30人
令和3年	1月6日	第1回東北電力バスターズ	1世帯 7人
	1月10日	第3回スノーバスターズ	15世帯 56人
	1月13日	第2回東北電力バスターズ	3世帯 10人
	1月20日	第3回東北電力バスターズ	3世帯 7人
	1月24日	第4回スノーバスターズ	21世帯 61人
	1月27日	第4回東北電力バスターズ	2世帯 6人
	2月3日	第5回東北電力バスターズ	2世帯 7人
	2月7日	第5回スノーバスターズ	20世帯 82人
	2月10日	第6回東北電力バスターズ	2世帯 7人
	2月21日	第6回スノーバスターズ	21世帯 56人
	2月24日	第7回東北電力バスターズ	1世帯 7人
	3月7日	令和2年度反省会	
合計		117世帯	333人



利用者の声



島倉 泰子 さん

今年は特に雪が多く、孤立状態になることを覚悟していました。スノーバスターズが来てくれ、生活道路を確保することができて、本当に助かりました。

会員の声



金ケ崎町役場
都市建設課 内田 典邦 さん

普段お世話になっている地域の方々に対して少しでも助けになることができたらと思い、参加いたしました。活動の中で、何度も「ありがとう」とお声がけいただくことが多々あり、あらためて金ケ崎町の皆様の温かい人柄を感じ、とても感動いたしました。

見えてきた課題

昨シーズンのように連日大雪に見舞われるとスノーバスターズにも限界があることがわかりました。今後は地域での除雪の支え合いの仕組みづくりが必要になっています。

花巻東高等学校女子硬式野球部の応援も！



花巻東高校女子硬式野球部
監督 三鬼 賢常 さん

高齢者世帯の方々を除雪できず困っていたので、少しでも助けたいという思いから参加させていただきました。雪かきボランティアを通じて、誰かのために頑張る事の意義を学び、貴重な経験ができた実感しております。

もともと、トヨタ自動車東日本(株)硬式野球部時代からスノーバスターズに参加しており、この活動を継続して、花巻東高校女子硬式野球部員にも体験させ、地域貢献していきたいという思いから参加させていただきました。

今後も、是非、地域の皆さまのために参加協力していきたいと考えております。



主将 河野 瑠生 さん

今回、スノーバスターズの活動に参加して、いつも応援してくださる地域の方々へ活動を通じて感謝の気持ちを伝える事ができたと思いました。雪かきの手伝い、そして、地域の方々とのコミュニケーションをとり交流することができ、活動に参加して良かったと思います。

今後も、色々な形で地域の方とコミュニケーションを取り、地域貢献をしていきたいと思っています。

指定(介護予防)通所介護・A型事業所

こんな事を
しています



あいさつ

管理者 高橋 奈歩

4月から通所介護事業所の管理者として配属されました。

私が社会福祉協議会に採用されて最初に配属されたのが現在の通所介護事業所の前身である「ハートフルデイサービスセンター」でした。あれから20年。古巣に戻ってまいりました。

前職であるケアマネージャーの経験を活かしながら、在宅介護の一番の応援者として利用者様の自立支援とご家族の介護負担軽減を目指して、いつまでも住み慣れた家で暮らしていけるお手伝いをしたいと思っています。よろしくお願いいたします。

デイサービス
(指定通所介護事業所)

利用者募集中

デイサービスでは、要介護状態にある高齢者のみなさんが能力に応じ自立した日常生活を送れるよう、必要な支援や機能訓練を行っています。健康チェックや入浴などの日常の支援をはじめ、季節行事や幼稚園との交流なども行いながら楽しい1日を過ごしていただいています。

◆募集曜日 月・水・木・土曜日

◆利用時間 9時15分～16時20分
(職員が送迎を行います)

◆問合せ先：TEL：44-0666
FAX：44-6106

利用者さんの声 佐藤 トモエ さん

ぬり絵や体操など、
色々な活動を楽しんでいます。
利用者みなさんとの会話は
勉強にもなり、
充実した時間を過ごすこと
ができています。



平日はふれ愛食堂の日替わり定食をみなさんに提供しています。

栄養士自信作の定食は、味はもちろん、栄養に気を使ったバランスのよいメニューに仕上がっています。

必要に応じて、食べやすいように手を加えた介護食を提供していますので、安心して食べていただくことができます。



皆様のご利用を
お待ちしております！

金ヶ崎町社会福祉協議会組織機構・職員配置図

令和3年4月10日現在

- 理事 高橋 範夫
- 理事 小野寺正徳
- 理事 伊藤 雅章
- 理事 菊地 成寿
- 理事 高橋 太市
- 理事 太田 光
- 理事 久保あや子
- 理事 佐々木 章
- 理事 佐藤恭仁子
- 理事 高橋 修
- 監事 伊藤 正徳
- 監事 堀 寿正

会 長 高橋 範夫
副会長 小野寺正徳

理 事 会

監 事

理事兼事務局長
高橋 修

評議員会

総務企画・地域福祉課

介護福祉課

障がい福祉課

課長 郡司 彰

課長 高橋オリミ

課長 宮本 運山

【福祉センター建設推進室】

※課長兼福祉センター建設推進室長 郡司 彰
福祉センター建設推進室員(兼) 高橋 奈歩
福祉センター建設推進室員(兼) 紺野小百合
福祉センター建設推進室員(兼) 鈴木 知里
福祉センター建設推進室員 蓑輪 豊

【総務企画係・地域福祉係】

主任兼福祉活動専門員兼会計職員 鈴木 知里
主事兼会計職員 佐々木 護
主事兼会計職員 高橋摩悠莉
社会福祉士兼生活支援コーディネーター 吉田 祐子
事務職員 児玉 真実
運転手兼用務員 釜石又三郎
運転手兼用務員 高橋 一男
運転手兼用務員 菅野 和彦
清掃員 阿部 稲子
清掃員 釜石 房子

【学童保育係】

係長兼金ヶ崎学童リーダー 菅原 真澄
金ヶ崎学童副リーダー 及川 育子
金ヶ崎学童児童支援員 今宮 妙子
金ヶ崎学童児童支援員 佐藤 文子
金ヶ崎学童児童支援員 高橋美枝子
金ヶ崎学童児童支援補助員 菊地みね子
金ヶ崎学童児童支援補助員 渡邊 郁子
金ヶ崎学童児童支援補助員 小野寺幸利
金ヶ崎学童児童支援補助員 山口 成実
金ヶ崎学童清掃員 高橋 君江
三ヶ尻学童リーダー 鈴木 里枝
三ヶ尻学童副リーダー 菊地 桂子
三ヶ尻学童児童支援補助員 遠藤 則子
三ヶ尻学童児童支援補助員 大友真由美
北部学童リーダー 伊藤 裕子
北部学童副リーダー 石川 裕美
北部第2学童副リーダー 及川 典子
北部第2学童児童支援員 福田多貴代
北部学童児童支援補助員 高橋 俊幸
北部学童児童支援補助員 松田 妙子
西学童リーダー 松川千鶴子
西学童副リーダー 鈴木 直美
西学童児童支援員 佐藤 芳子
永岡学童リーダー 熊谷 るみ
永岡学童副リーダー 佐藤 穂波
永岡学童児童支援員 小野寺智子
永岡学童児童支援補助員 木村 桂子

【指定居宅介護支援事業所】

係長兼管理者兼主任介護支援専門員 八重柏知史
係長兼介護支援専門員 及川由佳理
主任兼介護支援専門員 高橋 文恵
介護支援専門員 高橋 道枝

【指定(介護予防)訪問介護・A型事業所】

【指定障害福祉サービス事業所】
副主幹兼管理者兼サービス提供責任者 三田 章代
サービス提供責任者兼介護職員 石川千鶴子
介護職員 後藤 秀子
介護職員 千葉 薫子
介護職員 秋澤千賀子
介護職員 及川ひさ子
介護職員 本宮 君枝

【指定(介護予防)通所介護・A型事業所】

課長補佐兼管理者兼生活相談員 高橋 奈歩
生活相談員兼介護職員 小澤ひろみ
理学療法士 佐藤 真純
看護師 畠山 暢子
生活相談員兼介護職員 伊藤 美絵
看護師 高橋 牧子
介護職員 小関久美子
介護職員 山本 歌子
介護職員 秋澤 学
介護職員 廣野 聡
介護職員 及川 和江
運転手兼介護補助員 千田 清孝
清掃員 菊地美江子

(兼)は他事業所・他部署との兼務
※は名簿重複あり

【ワークステーションかねがさき】

課長補佐兼管理者兼サービス管理責任者 紺野小百合
主任兼職業指導員 榭 文章
主任兼サービス管理責任者兼生活支援員 及川 裕美
栄養士兼調理員 小河原由華
生活支援員兼運転手 八重樫 伸
看護師兼生活支援員 千枝恵美子
生活支援員 平尾由紀子
生活支援員 千田 瑞枝
職業指導員 千葉 博
看護師兼生活支援員 板宮勢智子
看護師兼生活支援員 千葉真由美
生活支援員兼調理員 堀内 秀子
事務補助兼生活支援員 安倍 百香
生活支援員 永山 一夫
職業指導員 阿部 喜一

【放課後等デイサービス】

【クレヨン】
係長兼管理者兼児童発達支援管理責任者 鈴木 清子
児童指導員 齋藤 治香
児童指導員 朝倉 由美
児童指導員 小澤 仁美
児童指導員 高橋 由香
児童指導員 菅原 絹子
児童指導員 及川 美香
指導員 荒井亜希子
【第2クレヨン】
管理者兼児童指導員 高橋ミナ子
児童発達支援管理責任者 小澤 明延
児童指導員 忍田 英美
児童指導員 及川 真弓
指導員 加賀谷由喜子
児童指導員 千葉 和枝
児童指導員 坂本 有子
児童指導員 菊池 良枝

【相談支援事業所あゆみ】

副主幹兼管理者兼相談支援専門員 佐藤久美子
あゆみ相談支援専門員(兼) 及川 純子
あゆみ相談支援専門員(兼) 吉田 祐子
あゆみ相談支援専門員(兼) 千枝恵美子

【障がい者基幹相談支援センター】

管理者兼保健師 及川 純子

寄付の報告

令和3年1月22日から5月6日までの受付分

ありがとうございます！
ごさいます！



○福祉基金

氏 家 康 男 さま 30,000 円
山 口 祐 加 さま 30,000 円
匿 名 10,000 円
高 橋 嬢 子 さま 20,000 円

○物品寄付

東北電力ネットワーク(株)水沢電力センター さま
自社防災備蓄用食品 180 食 社協へ

♥はっぴいぷれいすへ

カリツー東日本(株) 吉 富 裕 亮 さま 50,000 円
阿 部 忍 さま 小松菜1箱
小 原 まり子 さま ほうれん草2箱



24 時間テレビ福祉車両贈呈式

3月5日(金)、公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会から、車両リフト付ハイエースを贈呈していただきました。この車両は24時間テレビ「愛は地球を救う」で実施した募金をもとに全国212の福祉団体に贈呈されました(県内4団体)。

車両は、ワークステーションかねがさきの利用者送迎に使用しております。

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により 生活資金が必要な皆様へ

生活福祉資金(緊急小口資金)特例貸付のご案内

本特例貸付の受付期間は、令和3年6月末まで延長されました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等による収入減少があり生活資金にお困りの方を対象とした緊急小口資金等の特例貸付を実施しています。お申込みは事前にお電話でお問合せの上、来所いただきますようお願いいたします。

	緊急小口資金特例貸付	総合支援資金(生活支援費)特例貸付
貸付対象	新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯	新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
貸付限度額	10万円以内(原則一世帯一回限り。但し、4人以上世帯、学校等の休業、個人事業主等に該当する場合は20万円以内)	(単身)月15万円以内 (二人以上)月20万円以内 ※貸付上限額は原則3ヶ月分以内
据置期間	貸付日から1年以内	貸付日から1年以内
償還期間	据置期間終了後2年以内	据置期間終了後10年以内
貸付利子	無利子(償還期間後は年3%の延滞利子が生じます)	無利子(償還期間後は年3%の延滞利子が生じます)

問合せ先：金ヶ崎町社会福祉協議会 総務企画・地域福祉課
TEL 44-6060 午前8時30分～午後5時15分(土日除く)

職員募集のお知らせ

- 募集人数
 - 待遇
 - 必要な資格
 - 勤務時間
 - 雇用形態
 - 募集職種
- 3名(未経験者可)
当会就業規定による。
特になし。
- (春・夏・冬の長期休みは
午前8時～午後7時)
- 午後2時～午後7時
非常勤パート職員 週28時間以内
学童保育所放課後児童支援員(補助員)

ワークステーションかねがさき 食堂休止のお知らせ

金ヶ崎町近隣で新型コロナウイルスが発生しているため、当面の間休業させていただきます。誠に申し訳ございませんが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

再開については、当会広報やホームページにてお知らせいたします。

社会福祉法人 金ヶ崎町社会福祉協議会

☎029-4503
金ヶ崎町西根南羽沢43 町福祉センター内
TEL: 0197-44-6060 FAX: 0197-44-6106
E-Mail: kinshaky@seagreen.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.kin-syakyo.jp>

★この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています

